



**T S U N A G U**

小から中への滑らかな接続において

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和5年6月16日

我孫子市小中一貫教育だより  
第290号



我孫子市マスコットキャラクター  
「手賀沼のうなぎさん」

### 我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター  
「ふさだ だしお」

### Abi-ふるさとの共有授業実践の様子を紹介するうな～！

#### Abi-ふるさと「ふさカリキュラム」

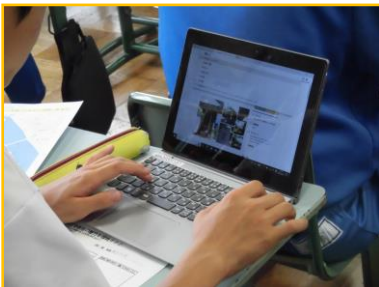


6月9日に布佐中学校で3学年同時間展開のふさカリキュラムが行われました。

1年生は布佐の語り部を招いての学習をしました。屋台方式で6人の語り部さんのお話を聞きました。「観音堂はなぜ建っている?」「岡田博士の人間像」「布佐の洪水」「栄橋の歴史を探れ!」「布佐文庫とはなにか?」「竹内神社にある英文石碑のなぞを解け!」と、自分が生活している布佐の町について、詳しく知ることができました。

2年生はフィールドワークで学んだ「洪水被害」「布佐文庫」「英文石碑」についてまとめました。不足している情報はインターネットで調べます。まとめたものはグループで共有し、ホワイトボードに書いて全体でも共有しました。

3年生は、1・2年生で学習したことから、「布佐のまちを発展させる方法」について提言書を作成しました。最初はグループでアイデアを出し合い、その中から、グループで1つ提言をまとめて出しました。「布佐を気象学のまちにする」「古民家カフェをつくる」など、学習したことを活かしながら中学生らしいアイデアが教室の中で溢れていました。



#### Abi-ふるさと「ふさカリキュラム」

6月13日に布佐南小学校の第3学年で、「ふさの町はどのように発展していったのだろうか」をテーマに学習しました。毎時間、学習したことを川柳にまとめ、発表します。

まず、前時の復習です。銚子で水揚げされた魚や材木が利根川の水運を利用して高瀬舟で運ばれていたこと、材木を陸揚げした地点が現在の木下であり、魚は布佐で陸揚げされていたことなどを川柳で再確認しました。(例)「魚はこぶ 馬車と船で 5日間」

続いてワークシートを使って学習しました。黒板に貼られた先生お手製の「布佐の地図」を見ながら、陸揚げされた魚を馬で江戸に運ぶための鮮魚(なま)街道とそれにまつわる話を聞き、ワークシートを完成させていきました。特に、学校前の公園に馬を祀った馬頭観音があることを写真で確認したときなど、子ども達は意欲的で、先生の問いかけに我先にと答えている様子が印象的でした。

まとめとして、本時に学んだことを川柳で表現しました。子ども達は積極的に取り組み、あっという間に作り上げて先生に見せ、評価をもらいながら黒板の用紙に貼っていきました。

(例)「ほかけ船 布佐でおりれば 江戸ちかい」

最後に全員が前に出て、川柳の発表をして授業は終わりました。1時間を通して子ども達は興味関心を強く持ち、意欲的かつ積極的に授業に参加できており、この後のフィールドワーク、そしてこれから中3まで続く「ふさカリキュラム」に大きな期待を抱くことができた授業でした。





TSUNAGU

令和5年6月28日  
我孫子市小中一貫教育だより  
第291号

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室



我孫子市マスコットキャラクター  
「手賀沼のうなぎさん」

### 我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター  
「ふさだ だしお」

### Abi-ふるさとの授業実践の様子を紹介するうな～！

#### Abi-ふるさと「がっこうにくるみち かえるみち」

6月20日に並木小学校の1年生で、通学路や公園を探検し、見つけたものを紹介し合う学習が行われました。

出発の前にめあてを確認しました。「見つける」「安全に気をつける」「出会った人に挨拶をする」の3つです。子どもたちは道路の標識やこども110番の家、消火栓など通学路にあるたくさんものを「見つける」活動に夢中でした。歩行中は事前に交通安全教室で学んだことを実践し、道の端を広がらずに歩いたり、横断歩道を手を挙げて渡ったりと「安全に気をつけて」歩きました。歩いている途中に出会った地域の方には、明るく元気な声で「挨拶」することができました。



公園に着くとブランコやすべり台、鉄棒などで元気よく遊びました。数が限られている遊具についてはきちんと順番を待ち、ルールを守って楽しく遊ぶことができました。

学校へ戻ると、見つけたものをワークシートに絵や文字でまとめました。できあがったワークシートは友達同士で見せ合います。友だちと「同じ」「似ている」「違う」を視点に、たくさんの友だちと見つけたものを紹介し合いました。



全体で広げ深める場面では、「とまれのマークを見つけました」という発表から「同じものを見つけた人」を紹介したり、「どんなところにあったか」を考えたり、「どうしてそこにあるのか」を考えたりしました。通学路には安全のため、困ったときのために役に立つものがたくさんあることがわかり、子どもたちから「あると安心する！」という声があがりました。主体的な活動と、地域の良さを味わうことができる学習となりました。

#### Abi-ふるさと「農家の仕事」

6月23日に新木小学校3年生の社会科で「農家の仕事で努力や工夫していることを調べて仲間同士で伝え合う」学習が行われました。新木小では地域の農家に協力を依頼し、実際にインタビューする活動などを通して調べ学習を行い、本時にまとめて伝え合うという流れでした。

授業が始まると、子ども達は自分が聞き取ってメモしてきたワークシートを基に、担任が分けた項目ごとにノートに分かったことをまとめていきます。どの児童もワークシートいっぱいメモしたことが記載されており、インタビューの時の一生懸命な様子が想像されました。わからないことも担任にどんどん質問するなど、仲間に伝えるために集中して学習に取り組んでいました。

続いて、グループ活動です。どの児童もノートを見ながら一生懸命に自分の調べたことを伝えようとしていました。

最後に、代表の児童が自分のノートを実物投影機で拡大しながら、学級全体に伝えて共有しました。子ども達は全体の前でも臆することなく、堂々と自分の調べたことや考えたことを発表することができました。



「Abi-ふるさと」を実践していくにあたり、3年生の社会科で地域を強く意識できる教材があることを認識することができる学習でした。



**T S U N A G U**

令和5年7月11日  
我孫子市小中一貫教育だより  
第292号

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室



我孫子市マスコットキャラクター  
「手賀沼のうなぎさん」

### 我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター  
「ふさだ だしお」

## Abi-ふるさとと Abi-キャリアの授業実践の様子を紹介するうな～！

### Abi-ふるさと「飯泉喜雄」

6月26日に我孫子第三小学校の第5学年で、Abi-ふるさとの「飯泉喜雄」について授業が行われました。

「町を思う」という言葉から想像できることを最初に考えた後、大型モニターで昔の我孫子市の様子についてクイズ形式で学習しました。2つの我孫子市の地図の違いから、新しい地図には鉄道があることに気づきました。

その後は、副読本「ふるさと我孫子の先人たち」で、我孫子駅を作った飯泉喜雄について学びました。次に、飯泉喜雄のさまざまな努力や思いの中でも「誘致運動」「私財をなげうつ」「無償で土地を」「停車場整理」「激務心労」のどの部分が、一番すごいと思ったのかを理由も含めて考えました。黒板のそれぞれのキーワードに顔写真を貼り、誰がどの考えかを見える化することで、友達の考えも知ることができました。それぞれのキーワードについてみんなで意見を出し合い、飯泉喜雄の努力や思いについてより理解を深めました。

最後に「町を思う」ということについてもう一度考えました。飯泉喜雄の我孫子を思う気持ちについて深く理解できたことで、自分自身も飯泉喜雄のように、みんなのために働くことのできる人になりたい等、自分事として感想をもつことができました。



### Abi-キャリア「はたらく人とわたしたちの暮らし」

6月26日に我孫子第四小学校の第3学年で、「はたらく人とわたしたちの暮らし」をテーマに Abi-キャリアを踏まえた社会の授業が行われました。

前時までに農家の人たちの1年間の仕事を学び、本時では「米作りのう家の人は、どのような思いでお米を作っているのだろうか。」を学習問題として授業が展開されました。

児童たちは各々で予想を立てました。「大変！」「笑顔が見たい。」「おなかが空いたらおいしく食べてほしい。」など農家の人たちの気持ちになってたくさんの予想を立てていました。

その後、先生が『わたしたちの我孫子』に掲載されている我孫子市の米農家である中野さんの願いを範読しました。児童も中野さんの願いについてもう一度読み返し、中野さんの言葉の意味を考えました。先生から「中野さんの願いはなんでしたか？」と問われると、「次の人にも農家を継いでもらいたいんだと思う！」とすぐに答えていました。「なぜそのように中野さんは願うのだろうか？」と聞かれると「お米が食べられなくなってしまう。」や「みんなで協力して作ることで作業が少し楽になる。」などの意見を出しました。最後の課題として「農家が減らないためにはどうしたらよいか？」という問いが出され、児童は周りの友達と話しながら児童目線でアイデアを出そうと真剣に話し合いをしました。「子どもの田植え体験や、田植えの習い事を作って農家の良さを知ってもらおう。」や、「やりがいを伝える手紙などを書く」など児童のアイデアが溢れた意見がたくさん出てきました。

農家の人たちの立場になって真剣に考える児童の姿がとても素晴らしい授業でした。





TSUNAGU

令和5年7月11日  
我孫子市小中一貫教育だより  
第293号

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室



我孫子市マスコットキャラクター  
「手賀沼のうなぎちゃん」

### 我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター  
「ふさだ だしお」

## Abi-ふるさとと Abi-キャリアの授業実践の様子を紹介するうな～！

### Abi-ふるさと「七夕集会」

6月27日に布佐南小学校の第1・2学年で、Abi-ふるさとの学習として1・2年生合同七夕集会(なつとなかよし)が行われました。

今回の集会にあたり、チームかえで(布佐平和台ボランティアグループ)の方を中心に、地域の方々がたくさん布佐南小学校の体育館に集まり、1・2年生と交流しました。

最初に「どうして七夕にささ飾りをするのか」を主題とした紙芝居を見ました。代表の子が順番に紙芝居を読みました。読み手は大きな声で堂々と読むことができ、聞き手もしっかり聞くことができました。



その後、先生から「おりひめとひこぼし」について、詳しく説明がありました。ベガとアルタイルの星座についても写真で学びました。世界の各地から見えるきれいな星空を見て、星座に対する興味も増しました。

そして、いよいよ、願い事を短冊に書きます。うまく書けない場合も、地域の方と相談することで書くことができました。笹につける作業も地域の方と一緒に行いました。いくつも願い事を考え、たくさんの願い事がつまった笹飾りが完成しました。また、地域の方々たくさん交流を深めることができました。



### Abi-キャリア「仕事発見！夢発見」

6月27日に布佐南小学校の第6学年で、Abi-キャリアの学習として「仕事発見！夢発見」の授業が行われました。

最初に、最新の技術や持続可能なものづくりのための工夫を学ぶために、BANDAIが実施しているプラモデル作りについての動画を見ました。動画を見ながら、ワークシートに重要なことを書き込みました。動画を通して、BANDAIの仕事の工夫や仕事に対する情熱や思いを知ることができました。また、BANDAIでは、ガンバラリサイクルプロジェクトを2021年に開始し、プラモデルを作る際に残るプラスチックの枠部分(ランナー)を回収しリサイクルをしていることを学ぶなど、SDGsについても理解を深めることができました。



動画を見た後は、先生と一緒に動画を見て分かった仕事の工夫や、情熱、思いなどについてみんなで共有しました。

そして最後にプラモデル作りを体験しました。うまく作業が進まない子も、近くの友達にすぐに教えて貰いながら、全員が集中して作業に取り組み、1時間もたたないうちに全員が、プラモデルを完成させることができました。今回の学習をとおして、BANDAIの方の企業努力について体感することができました。



# TSUNAGU

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和5年7月19日

我孫子市小中一貫教育だより

第294号



我孫子市マスコットキャラクター  
「手賀沼のうなぎさん」

## 我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



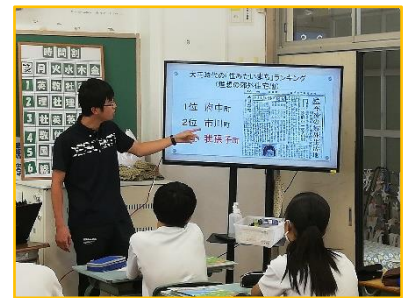
布佐地区キャラクター  
「ふさだ だしお」

## Abi-ふるさとの授業実践の様子を紹介するうな～！

### Abi-ふるさと「柳宗悦」

6月30日に白山中学校の第3学年で、Abi-ふるさと・キャリアとして我孫子の先人「柳宗悦」を扱った社会科の学習が行われました。

最初に、「ふるさと我孫子の先人たち」やこれまでの社会科の学習をもとに、民藝運動を興した「柳宗悦」の生きた時代や人物像について確認しました。続いて、明治後半から大正時代にかけて「柳宗悦」が感じていた我孫子の良さについて資料から読み取ると、それと照らし合わせながら、現在の我孫子の良さについて、グループで話し合いました。



後半は、「我孫子の良さを伝える放送原稿を作ろう！」と題して、グループでラジオCMのようなPR原稿を作成しました。生徒たちは「I LOVE 手賀沼」など魅力的なキャッチフレーズや、現代ならではの我孫子の魅力を織り交ぜながら、我孫子に興味を持ってもらえるようにグループで工夫して発表しました。短い時間でもすぐに我孫子の魅力をまとめ上げる生徒たちの姿に、これまでの9年間の学びの成果と大きな成長を感じました。

### Abi-ふるさと「ごみのしよりと利用」

7月3日に我孫子第二小学校の第4学年で、社会科の時間に「ごみのしよりと利用」の単元を「Abi-ふるさと」として位置づけた授業が展開されました。本単元の目標は「クリーンセンターで行っている努力や工夫」について理解し、ごみ問題に対して「自分たちに何ができるか」を考えることです。

授業の導入では、前の週にクリーンセンターを見学した時の写真を見ながら、見学時に学んだことや覚えたことを伝え合いました。そして、「クリーンセンターで働く人はどんな工夫や努力をしているのだろうか？」という学習課題が生まれ、子どもたちはグループになって、改めて見学時のことを思い返しながら学び合いを行いました。すべてのグループで、身を乗り出して自分の気づいたことを一生懸命に発言している姿が見られました。

続いて、学び合ったことを発表し、全体で共有しました。「環境や人への工夫」と「安全のための工夫・努力」に分けて、わかりやすくまとめることができました。

クリーンセンターでの工夫や努力していることがわかると、それを自分たちの問題としても捉えるために、先生から「みんなで協力してできることはないだろうか？」という発問がありました。子どもたちは再びグループにして学び合い、全体で発表して共有します。子どもたちからはリサイクル、ごみの分別、物を大切に使う、ごみを出さない工夫等々の意見があり、よく考えている様子が伝わってきました。

最後にまとめと振り返りを一人一人がノートに記入して授業は終わりました。「Abi-ふるさと」を実践していくにあたり、4年生の社会科でも、我孫子市にはタイムリーな地域教材があることを再認識することができる授業でした。





# TSUNAGU

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和5年7月25日

我孫子市小中一貫教育だより

第295号



我孫子市マスコットキャラクター  
「手紙沼のうなぎちゃん」

## 我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター  
「ふさだ だしお」

## Abi-ふるさとの授業実践の様子を紹介するうな～！

### Abi-ふるさと「田口静」

7月10日に我孫子第二小学校の第6学年で、「我孫子の先人・田口静」を題材に「Abi-ふるさと」の学習をしました。

授業の導入では、田口静の肖像画からどんな人物かを予想し、その後赤ひげ先生が登場するCMを見ました。児童たちは「知ってる！赤ひげ先生だ！」と盛り上がりました。

副読本で田口静の経歴を確認し、湖北村新木で医師として開業した人物であることがわかりました。さらに「田口静のすごいところはどこか？理由をよく考えながら聞いてね」と指示があると、皆熱心に担任の声に耳を傾け、真剣な表情で文章を目で追っていました。各個人で田口静のすごいところと理由をワークシートに書き、理由を含めてしっかり考えを持って発表できました。「患者のために凍てつく寒さのなか、真冬の沼を渡っていくなんて自分には真似できない」、「お金のない人には無料で診療し、誰でも病院に行けるようにした」、「医者として関係のないことまで人助けをしている」など、田口静のすごいところを発表し、その偉業の大きさを共有できました。

最後に「自分も同じような経験がないか」、「今後の自分について考えたこと」の2点について振り返りました。「友達を助けたとき感謝された」、「泣いて帰ってきた妹を慰めた」と誰かを支えた経験を共有し、「得意なことを人のために使いたい」、「人から頼られるようになりたい」と、自分のこれからを考えることができ、優しくも逞しい言葉で語ってくれた児童たちの今後の成長が楽しみにになりました。

「Abi-ふるさと」を実践していくにあたり、先人の生き方を自分の考えや行動と結びつけ、学校や地域をよくしていこうとする心を育てる授業でした。



### Abi-ふるさと「岡田武松」

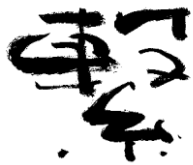
7月19日に我孫子第三小学校の第6学年で、「我孫子の先人・岡田武松」を題材に「Abi-ふるさと」の学習をしました。

最初に岡田武松の写真を見て「岡田武松はどんな人物だったのだろう？」と予想しました。博士が布佐出身であり、「気象学の父」と呼ばれていることを知り、台風の命名や日本海海戦での功績を始めとする偉業、人材を育成する名人、誰に対しても謙虚な姿勢をもっていたという人物像などについて、視覚資料を用いて担任から説明がありました。子ども達は博士の偉業の一つ一つや人間性に共感し、驚きとともに「すごい！」といったつぶやきを口にしていました。

次に、本時の目的に迫るための岡田博士の一面を表す「自分の信念をつらぬきとおす」という言葉と、そのエピソードとして、戦時中に気象学の軍事利用を迫られた博士が、自分の命の危険を顧みずに、「天気予報は軍のものではなく国民全体のもの」という信念を曲げなかったという逸話を学びました。そこから「軍に刀を突きつけられた武松はどんなことを考えたか？」について考えました。多くの児童が岡田武松の揺らぐことのない信念の強さについて考えていました。

まとめとして、「岡田武松の生き方からどんなことを考えたか？」を考えました。多くの児童が武松の生き方を自分の今後の生活に繋げて考えることができ、本時のねらいが達成された授業であることを確信しました。





TSUNAGU

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和5年8月28日

我孫子市小中一貫教育だより

第296号



我孫子市マスコットキャラクター  
「手賀沼のうなぎちゃん」

### 我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター  
「ふさだ だしお」

### 小中連携活動の様子を紹介するうな～！

#### 吹奏楽部小中連携活動

7月19日(火)の午後、終業式を翌日に控えた慌ただしい中でしたが、根戸小学校吹奏楽部と久寺家中学校吹奏楽部とが小中で連携した大変に有意義で、子ども達の笑顔があふれた合同練習が実施されました。

初めて中学校に登校した根戸小学校の子どもたちからは、やや緊張した表情も見られたものの、それを上回る期待感に胸躍らせている様子が伝わってきました。あいさつをして、説明を受けてから、音楽室のある4階の全教室で小学生と中学生がパートごとに分かれて練習開始です。



最初は指導役の中学生にも、初めての経験からかぎこちなさを感じられました。しかし、小学生の素直で真剣に教わろうとしている様子に触発され、時間の経過とともに一生懸命な熱の入った頼もしい姿が各教室で見られるようになりました。優しく手を取りながら教えている中学生、見本を見せながら丁寧に息遣いの方を指導している中学生、楽譜を見ながら演奏の工夫の仕方を話している中学生、目を輝かせて中学生の指導や話に耳を傾けている小学生と普段では目にする事の出来ない光景が繰り広げられていました。

あっという間にパート練習の時間が過ぎ、音楽室に全体が集合しました。小学生のために中学生が演奏を披露しました。演奏終了後、小学生からは「とても勉強になりました」「中学生の演奏に追いつくように頑張ります」と代表者から感想を含めたお礼の言葉がありました。それに対して中学生からも「とても楽しい時間でした」「6年生は、来年の入部を待っています」といった返事がありました。

近隣にある小中学校ということで実現できた今回の活動ですが、中学生の自尊感情を高めたり、小学生の中学校への期待感を高めたりするためにも有効な取り組みであることを改めて実感することができた時間でした。





# T S U N A G U

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和5年9月21日

我孫子市小中一貫教育だより

第297号



我孫子市マスコットキャラクター  
「手賀沼のうなぎさん」

## 我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター  
「ふさだ だしお」

## Abi-キャリアと Abi-ふるさとの授業実践の様子を紹介するうな～！

### Abi-キャリア「かかりのしごとをかんがえよう」

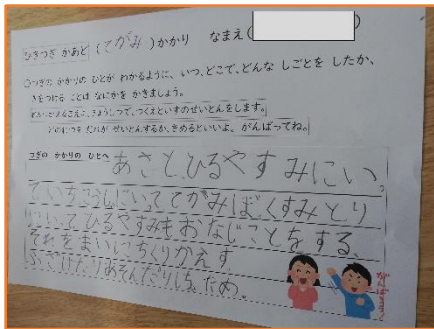
9月4日に我孫子第四小学校の第1学年で、「2 学期をパワーアップさせよう」をテーマに特別活動の授業が行われました。

前時に自分たちの係は何だったかを振り返り、本時では「おしごとますたあになろう」をめあてに授業が展開されました。

先生から「どうやったら“おしごとますたあ”になれると思う？」と尋ねられると児童からは「頑張ることが大切。」「自分の仕事をちゃんとした時間にやる。」などの意見が出てきました。良い意見が発表されると自然と拍手が生まれ、発表した児童も嬉しそうにしていました。

その後、1 学期の係ごとに集まり、2 学期の係に向けての引き継ぎ書を作成しました。先生から「いつ、どこで、どんな」に気を付けて書くとよいとアドバイスを受けると児童たちは 1 学期に行った仕事を思い出しながら、引き継ぎ書を書き始めました。最初は戸惑っていた児童も周りの友達や先生から助言をもらってスラスラと書くことができました。

最後に 2 学期の係で集まり、引き継ぎ書を見ながら、今度は「いつ、どこで、だれが、なにを」を考えながら「おしごとみっしょん」の記入をしました。役割分担を決めるには時間が足らず、みんなで仕事内容を確認するところで授業終了となりました。児童たちの係の仕事にこれから頑張るという気持ちが伝わってくる素敵な授業でした。



### Abi-ふるさと「井上二郎」

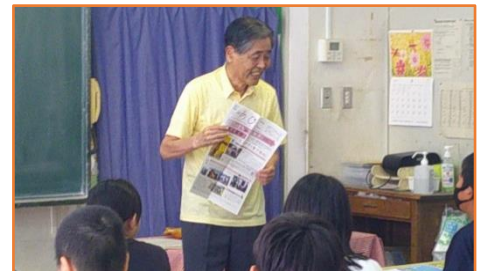
9月11日に布佐小学校の第5学年で、Abi-ふるさとの学習として「井上二郎」の学習が行われました。

今回は、井上二郎の業績について、ゲストティーチャーをお呼びして学習しました。最初に、旧井上家住宅新土蔵内で、現在上映中の映画の撮影があったことを聞き、井上二郎についてより興味を深めました。

我孫子市の昔（干拓前）と今（干拓後）の地図を見比べながら、手賀沼がどう変わったのか、干拓前の手賀沼周辺の町の発展や洪水被害の状況などについて、ゲストティーチャーの方から詳しくお話を聞くことができました。

また、井上家先祖代々の宿願であり、また地域の悲願であった新田開発のために、二郎が努力を惜しまず、仕事も辞め、自分でお金を集めて工事を行ってきた様々な苦労についても詳しくお話を聞くことができました。

今回は「ふるさと我孫子の先人たち」やインターネットには載っていない様々な情報とともに、井上家の我孫子を思う気持ちについて学ぶことができました。今後、今日学んだことをもとに新聞にまとめていく予定です。







TSUNAGU

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和5年9月21日

我孫子市小中一貫教育だより

第298号



我孫子市マスコットキャラクター  
「手賀沼のうきやまさん」

### 我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にしている子ども



布佐地区キャラクター  
「ふさだ だしお」

### Abi-ふるさとの授業実践の様子を紹介するうな～！

#### Abi-ふるさと「クリーンセンター」

9月11日に布佐小学校の第4学年で、Abi-ふるさとの学習として「ごみの処理と利用」の学習が行われました。

今回は、クリーンセンターの見学を振り返って、新聞にまとめていく学習を行いました。最初に、先生からクリーンセンタークイズが7問出されました。テレビ画面にクイズが映るとみんなのテンションは一気に上がりました。映像と効果音、面白いクイズの選択肢に、学級全体で大盛り上がり。クリーンセンターに行って学んだ「ごみクレーンは一回にどれくらいつかむことができる?」「ごみピットには何日分のごみをためることができる?」などの具体的な内容を、楽しくクイズで振り返りました。

クイズでクリーンセンターのことを思い出した後は、いよいよパソコンを使って新聞を作ります。先生がコラボノートで作成した新聞の枠をみんなに配付し、それぞれクリーンセンター見学について新聞にします。

先生が作成の仕方について一斉に指導した後、班隊形になって新聞を作り始めました。操作の仕方が分からないところは、友達と助け合いながら作成しました。次回は、完成に向けて、新聞づくりの続きを行っていく予定です。



#### Abi-ふるさと「嘉納治五郎」

9月14日に高野山小学校の第5学年で、「我孫子の先人・嘉納治五郎」を題材に「Abi-ふるさと」の学習をしました。

授業の導入では、柔道と柔術の写真を見るところから始まりました。写真からわかること、知っていることなどを自由に話した後、柔術から柔道を作った人が「嘉納治五郎」であることを教わり、「嘉納治五郎は、柔道を通して何を伝えたかったのだろうか。」をテーマに学習を進めていきました。

最初に補助教材から治五郎がどんな人であったのかを学びます。治五郎は「精力善用（心身の力を善いことに最大限用いる）」と「自他共栄（自分と周りの人がともに栄える）」の精神を大切にしていることがわかりました。

次に、東京でのオリンピック開催に力を入れた治五郎の気持ちを考えました。児童それぞれが治五郎の思いを想像した後、グループで共有しました。そしてグループで意見をまとめ、全体で共有しました。「みんなに柔道の良さを広めたい」「子どもたちにスポーツの良さを感じてもらいたい」といった発表が多く上がりました。発表を比べてみると、「運動することの素晴らしさ」「みんなのため」といった共通点があることに気が付き、それはまさに治五郎が大切にしていた「精力善用」「自他共栄」であることがわかりました。

最後に、この嘉納治五郎という先人が、実は我孫子市に別荘を構えていたことを学びました。白樺派の文人を我孫子に呼んだり、我孫子第一小学校に書を贈ったりしたことを知り、我孫子市に素晴らしい先人がいたことを感じる事ができました。





# TSUNAGU

令和5年10月25日  
我孫子市小中一貫教育だより  
第299号

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室



我孫子市マスコットキャラクター  
「手賀沼のうなぎさん」

## 我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター  
「ふさだ だしお」

## Abi-キャリアと Abi-ふるさとの授業実践の様子を紹介するうな～！

### Abi-キャリア「修学旅行を成功させよう」

9月14日に湖北小学校の第6学年で「修学旅行を成功させよう」をテーマに総合的な学習の時間が行われました。

本学習では、コラボノートを活用してY字チャートをつールとして使用して行っています。Yの三つの領域を「人間性」「学習」「友だち・協力」と割り振り、修学旅行前に「成功させるために頑張ること」をそれぞれに記載しておきました。本時では、「修学旅行で学んだことを次の生活に生かす」ことを最終目的に、「修学旅行で学んだことを振り返ろう」という学習課題が提示されました。修学旅行中に校長先生から「修学旅行での貴重な体験をその後の学校生活にどう役立てていくかが大切」という話もあり、これによって本時の目的も自然と児童全員に共有されました。

次に大型モニターでスライドを利用し、写真とともに修学旅行2日間を思い出しながら和やかな雰囲気です。そして、Y字チャートの画面に「修学旅行を振り返って学んだこと」を「～ができたから～」というように具体的な根拠を示しながらそれぞれの領域に記載しました。

記載されたY字チャートを大型モニターに映しながら数人の児童が発表し、全体で共有しました。頑張ったことはもちろん、失敗してしまったことも担任や仲間からのフォローや温かい認めがあり、発表した子の自尊感情も高まったように感じます。さらにY字チャートに「今後の生活に生かしたいこと」というテーマでそれぞれの領域に記載しました。先の活動で具体的な根拠を書いていたこともあり、多くの児童がこの後の学校生活に生かせる具体的、かつ的確な内容を記載していました。

最後に本時の振り返りをPCに記載しました。寄せ書きのような画面で、全員の記載事項が見られるようになっています。すべての児童が本時の最終目的に適うような記載をしており、今後、これをどう行動化、持続化させていくかがとても楽しみとなる授業でした。



### Abi-ふるさと「嘉納治五郎」

9月21日に、新木小学校の第5学年で、Abi-ふるさとの学習として我孫子の先人の一人、「嘉納治五郎」について学びました。

学習目標を「柔道を確立した嘉納治五郎について知ろう」と設定し、「嘉納治五郎」について、その生い立ちから学んでいきました。「ふるさと我孫子の先人たち」を資料に、わかったことをワークシートにまとめていきます。途中、担任の先生から大型モニターに映したスライドや写真・イラストなどの資料の説明を受けながら、「嘉納治五郎」の人物像を膨らませていきました。

「嘉納治五郎」が日本にオリンピックを招致しようとしたときの思いについて問われると、子ども達から「日本に人を集めたい」「柔道を世界に広めたい」「平和を大切にしたい」などの意見が挙がり、オリンピック憲章に共感し行動した「嘉納治五郎」について理解を深めていました。

振り返りでは、それぞれが自分の言葉で「嘉納治五郎」のすばらしさについてまとめる姿が見られました。

